

麻生区区民会議 第3回安全・安心のまちづくり部会 議事要旨

1 開催日時：平成24年12月11日（火）午後3時～午後5時

2 開催場所：麻生区役所第7会議室

3 出席者：[安全・安心のまちづくり部会委員]

加賀美委員、村主部会長、高倉副部会長、田中委員、長谷川委員、
横山委員、吉田委員（梶委員、久保倉委員、高瀬委員は欠席）

[事務局]

安生企画課課長、白石担当係長、佐伯、小田

4 傍聴者：なし

5 議 事

(1) 調査審議課題の具体的検討について

※ 審議にあたり事務局から「川崎市地震被害想定調査報告書（平成23年3月）」の火災被害
に関する抜粋資料を用いた説明を行った。

【委員からの意見】

- ・被害想定のうち、死亡につながる最大要因は何かが知りたい
- ・被害想定を推計条件を整理したものから、ある程度の要因把握が可能ではないか
⇒ 火災の要因（20件）：建物の圧壊8件、圧壊以外9件、化学1件、その他

※ 「大地震から助かる命を守る」ための具体策検討シートに関して、各委員から寄せられ
た意見を整理した資料1-1、資料1-2を基に審議の方向性に関する協議を行った。

【決定事項】

- ・部会内で審議するテーマを明確にした後、事例の紹介や関係者からの話を聞く方向で進
める。重点的に審議したい項目を事前に提出（1/4締め切）してもらい協議資料とする。

【主な意見】

◆事前対策

① 家屋の倒壊防止

- ・倒壊の危険性のある家屋を公表する ⇒ 個人情報（資産）に関するものであり、難し
いのでは

② 安全なまち実現モデルプロジェクトの検討

- ・防災訓練等への参加 ⇒ 半強制的でないとう参加率が低い
- ・耐震改修の補助金等の上乗せ

③ 防災ポイント制度による市民の意識向上と対策の促進

④ 火災予防

- ・消火器の設置（消防署で把握している） ⇒ 低い設置率
- ・消火器は個別での設置対応（町会で設置するケースも） ⇒ 初期消火につなげる

- ・ 出火率を抑えるための方策
- ・ 消火率を上げるための方策（初期消火に向けた対策）
- ⑤ 防災組織、防災訓練
 - ・ 現在の組織率は面的集計で91%
 - ・ 装備品などの購入や訓練の実施等に助成が受けられる（自主防は町会・自治会が中心）
 - ・ 防災訓練などが実施されている
 - ・ 防災ネットワーク協議会の立ち上げが予定されている
- ⑥ 近所での日頃の付き合いについて
 - ・ 日頃の付き合いが重要 ⇒ 古くからの地区は付き合いがある、新しい地区は付き合いが少ないところもある
- ⑦ 災害時要援護者等への対応について
 - ・ 要援護者の情報は自主防災組織の長には伝えられている
 - ・ 民生委員にも伝えられるようになっていく ⇒ 民生委員の負担は大きく、人数も少ないため、災害時に民生委員自身が要援護者に直接対応することは難しい
- ⑧ 避難用具、食料等の備えについて
 - ・ 防災グッズの確認を促進する ⇒ 水・食料の見直し、意識の向上が必要
 - ・ 非常持ち出し袋の普及 ⇒ 商店街等の協力も考えられる

（２） その他

次回安全・安心のまちづくり部会について

【決定事項】

- ・ 日時：平成25年1月18日（金）18:00～ 区役所第4会議室
- ・ 議題：調査審議課題の絞込みについて など
- ・ 田中委員からマンションでの防災に関する取組み事例などを紹介してもらう

以上